

みんなで考えよう

家庭でもできる、いろいろな治水対策。

家にふった雨水は、できるだけためたり、少しずつ流しましょう。こうした一人一人の気配りが、大きな水害をふせぐことにつながります。

雨水はためて庭の水まきに

● 雨どいから流れ落ちる水はバケツにためて、晴れてから庭の水まきや花への水やりなどに利用しましょう。水の節約にもなります。



大雨のときはお風呂の水を流さない

● 特に大雨のときは、お風呂や洗濯の水などたくさん水を流さないようにして、雨がやんでから流すようにしましょう。

庭にはできるだけ土を残しておく

● 庭には植物を植えるなど、できるだけ土を残しておいて、ふった雨水が地面にしみこみやすくしておきましょう。

庭の雨水は少しずつ流す

● 庭に池をつくって雨水を集めたり、地面を少しほって置いて雨水をためてから地下にしみこませるなど、雨水が一度に流れないようにしましょう。

総合治水チャレンジクイズ！

それぞれのクイズに○か×で答えてね。

- Q1 寝屋川流域のほとんどは、土地が低いので、ふった雨水が自然に川へ流れこまない。
- Q2 森や田畑には、雨水をすいこむ働きがある。
- Q3 寝屋川治水緑地の広さは、甲子園球場の約5倍ある。
- Q4 総合治水は、大阪府だけで進めれば良い。
- Q5 学校のグラウンドにいったん水をためることを「校庭貯留」という。

090 ×40 ×80 020 010 <答え>

公式ツイッター(アカウント:@neyakyogikaiPR)で最新の情報を発信しています!
(<https://twitter.com/neyakyogikaiPR>)

寝屋川流域協議会 事務局(大阪府都市整備部河川室河川整備課) 令和3年3月版
〒540-0084 大阪市中央区大手前3-2-12 TEL.06-6943-9024
http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/neya_ryuikiyogikai/index.html
このパンフレットは700部作成し、一部あたり37円です。

寝屋川の総合治水って何だろう？



「総合治水」水をふせぐことを川のまわりの地域全体で雨水をいっただんためたりして、量をふやすことと、川の流れる水の

このように、川の流れる水の量をふやすことと、川のまわりの地域全体で雨水をいっただんためたりして、水をふせぐことを「総合治水」といいます。

総合治水

水をふせぐことを川のまわりの地域全体で雨水をいっただんためたりして、量をふやすことと、川の流れる水の量をふせぐことを「総合治水」といいます。

工事その1 川の改修

川を流れやすくする、流れる水の量をふやし、地下に川をつくって流す

川を改修して、浅い底をほったり、堤防を高くして、川にたまった水が流れるようにします。また、曲がりくねった川をまっすぐな川に直したり、地下に川をつくって流すようにします。

工事その2 地下河川

地下に川をつくって流す

地下に川をつくって流すように、川を地下に掘削して、雨水が地下にたまり、そこから川へ流れるようにします。

工事その3 治水緑地

川の場所をいっただんためる

大雨がはると、川の水があふれることがあります。そこで、川の中に水があふれることのできる場所をいっただんためて、川の水をためておくことで、大雨がはると、川の水があふれることを防ぎます。

工事その4 流域調節池

地下に池をつくっていったんためる

大雨がはると、道路や家などのまわりの地下に池をつくって、雨水をためておくことで、大雨がはると、川の水があふれることを防ぎます。

流域対策

流域対策

流域対策とは、流域全体で雨水をいっただんためることをいいます。

まちづくり

まちづくり

まちづくりとは、まちづくりを通じて、雨水をいっただんためることをいいます。

まちづくり

まちづくり

まちづくりとは、まちづくりを通じて、雨水をいっただんためることをいいます。

流域対策

流域対策

流域対策とは、流域全体で雨水をいっただんためることをいいます。

むかしは

むかしは、森や田んぼや畑がヌボから、雨がふると水が川へ流れて、川の水がふよふよと流れていました。

今は

今は、家がビルがふえて、地面がコンクリートなどになったから、ふった雨がそのまま川へ流れて、洪水がおこりやすくなっています。

むかしは

むかしは、森や田んぼや畑がヌボから、雨がふると水が川へ流れて、川の水がふよふよと流れていました。

今は

今は、家がビルがふえて、地面がコンクリートなどになったから、ふった雨がそのまま川へ流れて、洪水がおこりやすくなっています。

川の改修

広げる 高く
掘る 堤防

流れる水の量をふやす 川を流れやすくする!

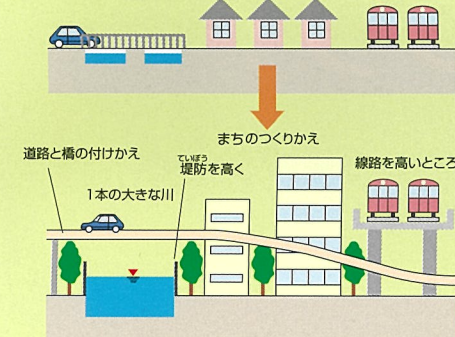
堤防の低いところや川が運んでくる土砂で底が浅くなっているところでは、堤防を高くしたり川底をほったりする改修工事を行うことで、流れる水の量をふやしています。また、曲がりくねった川をまっすくにしたりする工事を行い、川の水を流れやすくしています。

住道駅前の改修工事の様子

改修前(昭和46年) 改修後(平成12年)



大東市住道地区では、駅前のまちをつくりかえたり、線路を地上より高いところに付けかえる工事といっしょに、川の改修工事を行いました。



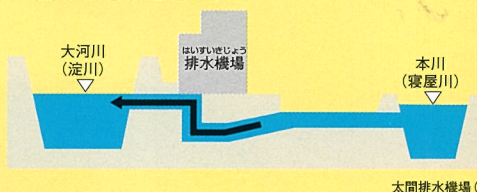
流すしせつ

■分水路

水路をつくって大きな川に流す

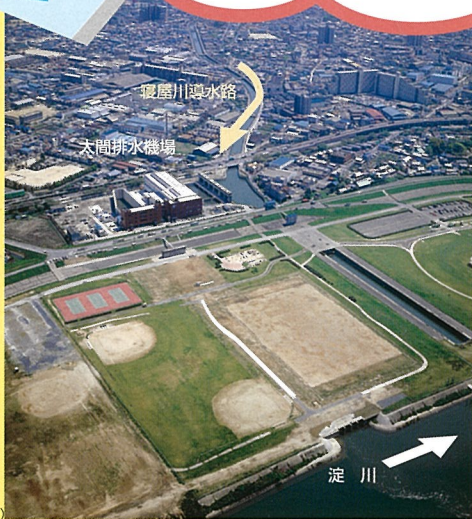
①分水路とは、川からあふれそうな水を別の川へ分けて流すためにつくられた新しい水路のことです。寝屋川には、寝屋川導水路と城北川の2本があります。

②寝屋川から分かれた水は寝屋川導水路からは「太間排水機場」、城北川からは「毛馬排水機場」とよばれる大きなポンプ場を通して、大きな川の「淀川」に流され、寝屋川からあふれ出るのをふせぎます。



太間排水機場(寝屋川市)

大きな川や地下の川へ 水を流してしまおう!



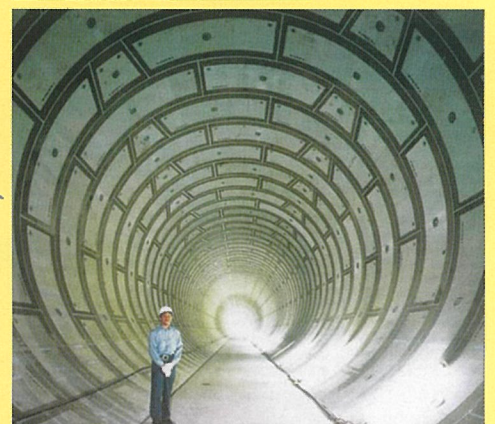
■地下河川

地下に川をつくって流す

道路などの地下に大きな川をつくって、そこにぶった雨水や川の水を流し、川からあふれ出るのをふせぎます。寝屋川流域の北と南に2本の地下河川工事を進めています。この地下河川は、直径がいちばん大きいところで10mもあり、その長さはなんとそれぞれ10km以上もあります。

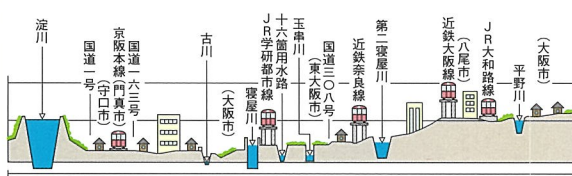


地下河川をほる機械(シールドマシン)



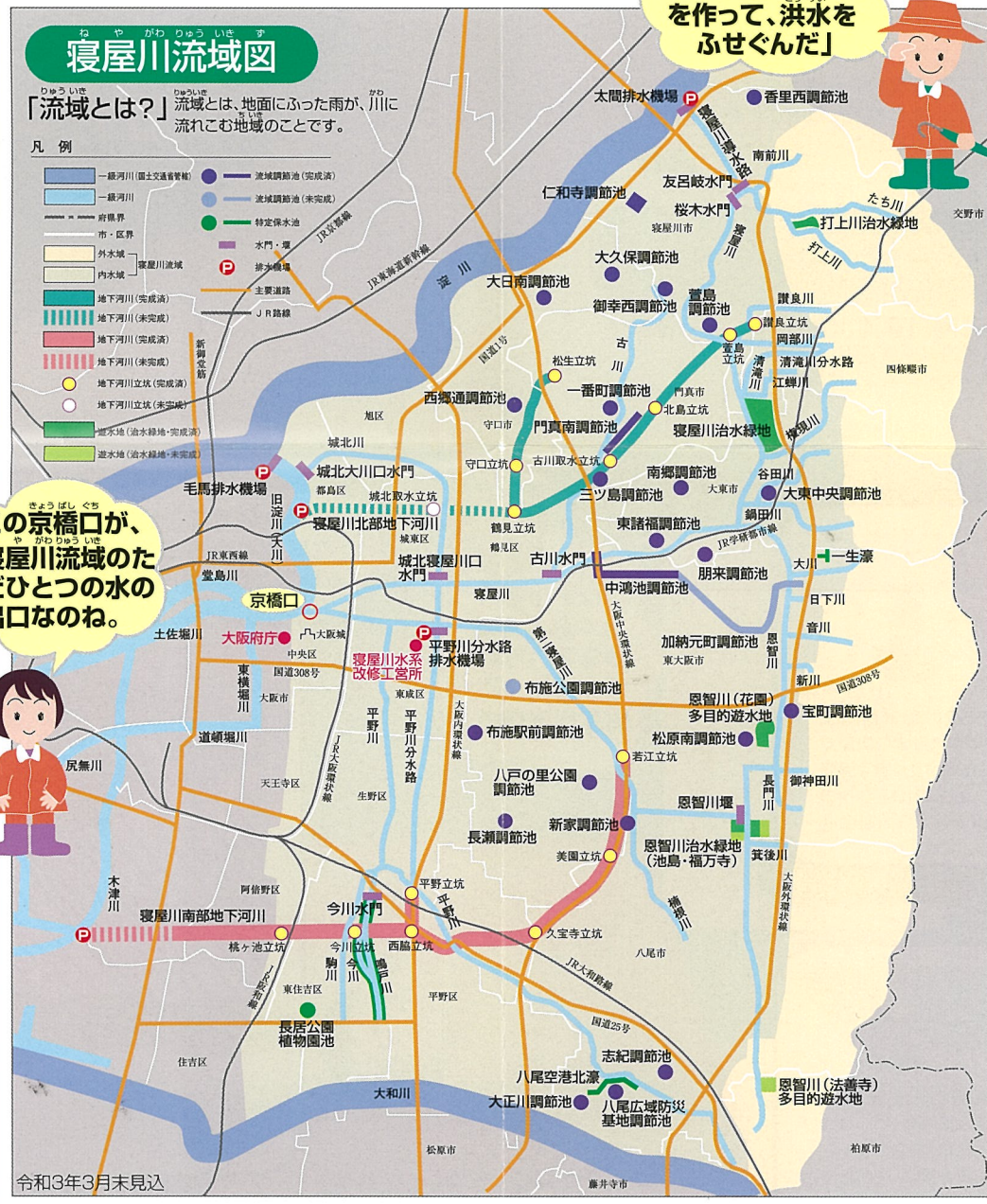
寝屋川北部地下河川

わたしたちのまちはこんなに低いところにあります。



川の底がまちの地面よりも高い川を「天井川」といいます。この「天井川」から水があふれると、たくさんの水がまちに流れて大きなひがいになりますが、寝屋川流域も、川の底より低いところがとても多いのです。

「たくさんのしせつ を作って、洪水を ふせぐんだ」



この京橋口が、寝屋川流域のただひとつの水の出口なのね。

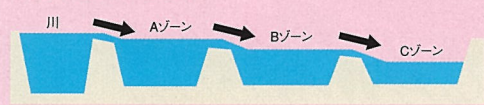


ためるしせつ

■遊水地

川の水をいったん他の場所にためる

いつもは、川と親しむことができる公園ですが、大雨がふり、川の水位が上がると、流れている水をこの公園の中に流しこんで、いったんためます。川の水位が下がれば、もう一度川に水をもどすようにしています。



遊水地(治水緑地)のしくみ

寝屋川治水緑地の場合、まず「Aゾーン」にため、もっと必要な場合は「Bゾーン」「Cゾーン」にためます。3つのゾーンの広さは約50haで、合計146万㎡の水をためることができます。これは甲子園球場の約13倍の広さで、大阪マルビルの約15倍の量になります。



平成11年8月に水がたまった様子

ためるしせつ

■流域調節池

地下に池をつくっていったんためる

まちの中によく見ることができる公園や広場、駐車場の地下に、雨水をためることができる大きな池をつくっています。大雨がふったとき、雨水が川に流れこむ前に、ここにいったんためて、まちを洪水から守ります。

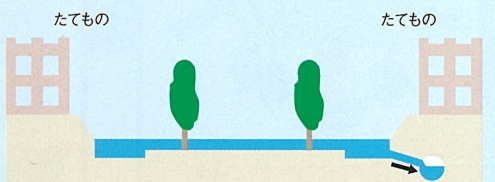


上記写真真横線箇所の地下部分

公園や学校の校庭にも 水をためる!

流域対策

流域対策とは、「水をためるしせつ」を大阪府や市がつくるだけでなく、学校のグラウンドやたてもとのたてもとの間にいったん水をためたり、道路を雨水がしみこむアスファルトにかえたりすることです。また、森や田畑を守ることや、洪水が起こったときにひがいを小さくするための訓練や、みんながにげる場所を決めたりしています。



たてもとのたてもとの間に水をためる(大東市)



学校のグラウンドに水をためる(四條畷市)



ふだんの時

水がたまった時

まちの中に、 水をためるところをつくる!